

# 会 議 録

## 1 会議名

第2回浦川原区地域協議会

## 2 審査（公開・非公開の別）

### (1) 平成26年度 浦川原区地域活動支援事業の審査（公開）

ア 提案者によるプレゼンテーションと個人審査

イ 全体審査

### (2) 協議（公開）

(1) 浦川原区地域協議会だより編集委員（当番）の決定について

(2) 次回の開催日について

## 3 開催日時

平成26年5月31日（土）午前8時30分から午後4時43分まで

## 4 開催場所

浦川原地区公民館3階 講堂

## 5 傍聴人の数

1人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員：五十嵐輝義、池田幸博、北澤誠、杉田昭一、中村丈一、藤田宏経会長、水澤幸博、村松勝藏副会長、村松恵子、村松千恵子副会長、山崎正幸

・事務局：浦川原区総合事務所奥田所長、木村次長、大場総務・地域振興グループ長、総務・地域振興グループ保高班長、総務・地域振興グループ小酒井班長

## 8 発言の内容

### 【藤田会長】

ただ今から平成26年度第2回浦川原区地域協議会を開催いたします。本日の出席委員は全員であります。地域自治区の設置に関する条例第8条第2項により、委員の半数以上が出席していますので、会議が成立することを予め確認いたします。

なお、中村委員は午前中で退席されますので、あらかじめご報告させていただきます。

次に、上越市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則、第5条第2項により、この会議の会議録の内容については、地域協議会が指定した方の確認をいただくことになっております。本日の会議録は水澤委員にご確認いただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

【水澤委員】

はい。

【藤田会長】

よろしくお願いたします。

それでは、2の審議に入ります。「(1)平成26年度 浦川原区地域活動支援事業の審査について」、これから始めたいと思います。事務局から審査の手順について説明を求めます。事務局お願いします。

【総務・地域振興グループ 保高班長】

今年度の地域活動支援事業は、4月1日から30日の間に募集を行い、7団体7案件のご提案がありました。本日は午前中に、提案者の皆様からプレゼンテーションをしていただきながら、委員ごとに個人審査をお願いしまして、午後から当協議会全体での審査という形で実施事業を決定していただきたいと考えています。

まず、採点方法についてです。全体的には昨年度と同じ方法でお願いすることになります。個別事業のプレゼンテーションは、質疑応答を含めて25分以内とします。このうち提案者による発表は15分以内でお願いいたします。第一声と同時に、事務局で時間の計測を始めます。15分経過したところで、説明の途中であっても打ち切りとさせていただきます。

それから、皆様方による個別審査はお手元にあります平成26年度浦川原区地域活動支援事業にかかる採点表、右の角に①、②と書かれた用紙がクリップで留めてありますが、こちらをご使用ください。採点方法は、①公益性～⑤発展性まで項目ごとに5点と配点しまして、公の福祉に鑑みて、より好ましい内容ほど高い点数をつけていただくシステムになっております。

続きまして、担当課の所見の報告をいたします。

提案内容が他の制度によって禁止されていないか、他の補助事業等と重複して補助対象になっていないかなどを確認するため、市役所の関係各課の所見を確認してあります。結論から申しますと、7件全てにおいて、課題なしとの所見を得ていますが、このうち5件は担当課による付帯意見が記されておりますので、ご報告いた

します。順に読み上げますので、審査の参考にしてください。

1番目の「地域活性化モデル事業」については、観光振興課に所見を求めました。課題はありません。付帯意見として、「当該団体の補助金交付はない。なお事業の内容が地域振興であることから、本事業に対する本課からの意見は控える。」という意見が添えられています。

次に、「ふるさと公園の桜を楽しむ会」についても観光振興課に所見を求めました。こちらも課題なしで、先ほどの案件と所見の内容は変わりません。特記事項も同じ内容が記されております。

3番目の「第3回うらスポマラソン大会」につきましては、体育課に意見を求めまして、課題なし、特記事項なしとの所見を受けました。

4番目の「和太鼓を通じた青少年健全育成事業」は、生涯学習推進課に意見を求めましたが、課題なし、特記事項なしとの返答でした。

5番目の「霧ヶ岳登山普及啓発事業」は観光振興課に所見を求めました。課題はありませんでした。付帯意見として、「道標や看板等の維持管理は提案者において実施すること。」とされております。

6番目の「地域憩の広場づくり事業」については、福祉課へ問い合わせました。課題はありませんでしたが、要望事項として、「整備する機器や備品については障害者や高齢者でも簡単に使用できるユニバーサルデザインの機材整備を希望します。例として、ミシン、アイロン、裁ち鋏、コーヒーカップ等、障害をお持ちの方でも使いやすいデザインなどに工夫されたものを求めます。」とされております。

7番目の「惣菜・高齢者夕食宅配事業」ですが、こちらも観光振興課に意見を求めましたが、課題はありませんでした。しかし、意見として、「当該団体の補助金交付はない。また、テナント（食堂）は行政財産目的外使用として許可しているものであるため、そこを拠点としての事業展開は問題ないと考えている。なお、事業の内容が福祉施策であることから、本事業に対する当課からの意見は控えるが、事業の収支計画では事業者の備品購入に対する助成と捉えられ、地域活動支援事業の要件に該当するか判断が必要と思われる。」という所見が示されております。

補足いたしますが、地域活動支援事業の要件において備品購入そのものは禁止事項ではありません。あくまで個人の財産となるような備品購入は禁止となっておりますが、団体所有の備品となるものは禁止事項ではありません。ただ、備品として購入するかどうかについては、担当課としては極力、リース、レンタルによる対応を

お願いしたいということです。その上で、どうしてもリース等の物件とならないもの場合には、備品購入は禁止されるものではないとの確認が取れていますので、このことも参考にしていただければと思います。事前に確認した各課の所見のご報告は以上です。

最後に、事務局からお願いします。集計作業を速やかに行うために、採点表は、提案者が代わる都度に記入していただき、手元に置いていただきたいと思います。複数の提案者の発表をお聞きになって、相対的に評価を変更したい場合などは、見え消しにより修正していただいても結構です。全ての提案者の発表が終わり、採点表の記入が終わりましたら、事務局を呼んでいただければ回収に回ります。

事務局が集計する段階で疑義があった場合には、昼休み中でも確認に伺いますのでご協力をお願いいたします。

昼食後に集計結果をご覧いただきながら、全体審査を行いますのでよろしくお願いいたします。

#### 【藤田会長】

ありがとうございました。今ほどの所見を参考に、皆様から公正な判断をお願いしたいと思います。

説明が終わり、9時からのプレゼンテーションを待つのみとなりましたが、中村委員も途中退席されますので、先に議事の3を協議したいと思います。

(藤田会長が、資料1に沿って浦川原区地域協議会だよりの発行(案)を説明。)  
この案のとおりでよろしいでしょうか。

(一同、「はい。」)

では、この案のとおりお願いします。

次に、次回の協議会の開催日程ですが、6月26日の木曜日、午後6時30分に浦川原コミュニティプラザで開催したいと思います。この日程でよろしいでしょうか。

(一同、「はい。」)

それでは、お願いします。

以上で協議は終了いたします。休憩を挟んで、9時から予定どおり審査を行いたいと思います。

(休憩後、9時から会議を再開。)

それでは、提案者によるプレゼンテーションを始めます。

最初の提案者は、浦川原桜つつみ公園を守る会の皆さまです。

事前に提案書を読ませていただきました。熱心な提案に敬意を払っておりますが、7件の提案があり、時間も限られていますので、プレゼンテーションの時間を15分、質疑を10分、計25分以内でお願いします。

浦川原区への配分額は合計550万円となっていますが、皆様の提案7件の合計金額が950万円ほどになっているため、ご希望の額にお応えできるか分かりませんので、あらかじめご了解をお願いいたします。

では、プレゼンテーションを始めてください。

(浦川原桜つつみ公園を守る会が提案書に基づいて説明。)

#### 【藤田会長】

委員から、ご質問を受けたいと思います。

#### 【山崎委員】

支出の内訳を見ると、噴霧機や草刈り機、発電機などのエンジンの付いている機械が見られます。エンジンは使用頻度が低いと駄目になります。そのことを考えた場合には、消耗品以外で、リースで借りたほうが良いものがたくさんあるのではないのでしょうか。

また、これらのものをすべて購入したとして、保管場所のことは考えておられるのでしょうか。

それから一般企業の場合、10万円以下の物品は消耗品、10万円から20万円は簡易な固定資産、20万円以上は固定資産として区分していますが、この金額から判断すると、かなり管理していただかないといけないと思います。備品管理についての考え方をお聞かせください。

以上、三点をお聞きしたいと思います。

#### 【浦川原桜つつみ公園を守る会】

先日、第一回の観桜会を開催しましたが、資金がないために大部分の物品は総合事務所から借りたり、仲間から借りたりして実施しました。草刈りなどもしましたが、会の所有のものが何もないために、全て仲間から出し合ってもらって行いました。

発電機などもリースできるのではないかとのお話がありましたし、確かにリースできるものも多いのですが、桜の見頃が他の地区と同じ時期になるため、観桜会の時期も重なってしまい、リース機器の需要も重なってしまいます。リースでの確保

が難しいため、2台でも3台でも、購入しておきたいと思っています。今年は、2台の発電機をリースしながら5台を使用しましたが、それでも電源が足りなくて投光機が点けられないという悩みもあったので、できれば購入させていただきたいと思います。

管理、保管場所は、私どもでは特別に持ってはいませんが、副会長所有の農作業所の一部を整理して、そこに大型機械等を保管したいと思います。

#### 【山崎委員】

リースの時期が重なると言っても、今はリース屋さんも全国で機材を回していますので、その理由では回答にならないと思います。まだ聞きたいことはあるのですが、ほかの委員もおられますので、またにします。

#### 【水澤委員】

このように立派な会則等も作成され、地域に元気を出させるという観点からすると、非常に素晴らしい取組をされているのだと思います。ただ、中保倉地域には、ふるさと公園の桜を楽しむ会があって、有志の皆様が、まずは自分たちのお金を出し合って始めたという経緯がありますので、そういった事例も参考にさせていただきたいと思います。

今、山崎委員もおっしゃいましたが、200万円というとかなり大きな金額です。一度に物品購入できれば一番良いのですが、将来的に何年かを掛けて、この会自体も下保倉地域という枠組みの中で、みんなで発展的な展開にしていく考えかどうか。それと、ふるさと公園の桜を楽しむ会で、過去に消毒用の機械を地域活動支援事業で購入しましたが、その際、村松副会長からは条件を提示されまして、他のところで使う場合には貸出しをしてくださいと言われた経緯があります。そういうところで融通できる機材も多くあると思いますので、購入する備品ももう一度、精査をしていただきたいと思います。

#### 【藤田会長】

委員の皆様申し上げます。ご質問は整理して、端的にお願いします。時間も限られておりますので、最後に北澤委員のご質問を受けて、水澤委員のご質問と一緒に回答させていただきます。

#### 【北澤委員】

市で市内の桜の見どころ案内の地図を出していますが、浦川原が掲載されていませんので、そういうことも考えて市へのアピールもお願いいたします。

それからハッピーですが、観桜会だけでなく他のイベントでも使い回しできるようなものにしていただきたいと思います。

【藤田会長】

それでは、今の質問の内容を受け止めていただくということでよろしいでしょうか。

【浦川原桜つつみ公園を守る会】

はい。

【藤田会長】

ありがとうございました。提案の額に十分にお応えできるとは限りませんが、例えば、減額があっても事業実施されるということでよろしいでしょうか。

【浦川原桜つつみ公園を守る会】

はい。

【藤田会長】

はい、ありがとうございました。

では、次の「ふるさと公園の桜を楽しむ会」の皆さん、お願いします。

(ふるさと公園の桜を楽しむ会が提案書に基づいて説明。)

【池田委員】

活動資金が足りないなかで、できるだけ補助を受けずに活動していきたいとのお話がありましたが、具体的にどのように資金を集めようとお考えなのか、お聞かせください。

【ふるさと公園の桜を楽しむ会】

提灯を仕入れて我々が文字を入れて販売するのですが、利益は200円～300円程度です。それと、会場で協力金を集めさせていただいています。当初はかなり集まったのですが、年々減って、今年は28,000円しか集まりませんでした。

そのようなことで、15人の会員がお金を出し合って穴埋めしているのが現実で、今後、会員が増えれば良いですが減ってきた場合は大変かなと思っており、地域活動支援事業がある間はお願いできないかと考えている次第です。

【池田委員】

はい、分かりました。

【村松(勝)副会長】

今年のイベントの来場者は、どのくらいでしたか。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

はっきりと数字は分かりませんが、車で上り下りされる方が多くなっており、イベント会場ではなく、ただ桜を見に来る方もいらっしやると思います。観桜会イベントのほうで480人～500人位かと思っておりますが、桜だけを見に来る方がかなり多くおられました。植えられた桜の中に「べにゆたか」という品種があり、他のところにはない品種だということで、有名になってきております。

**【村松(勝)副会長】**

区への配当額が限られているため満額の回答ができない場合には、どうされるお考えでしょうか。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

私どもは裏も表もなく正直に出している数字なので、できる限り満額をお願いします。

**【中村委員】**

私も観桜会が終わった後に、チラシに載っているような写真を撮りたいと思っただけですが、どこで撮られた写真かが分かりにくいので、できたら取組の発展性という観点からも、見どころのスポット等を情報提供していただければと思います。例えば山の方などで、来られた方が安全に桜を楽しめる場所を何箇所か分かりやすくしていただけたらと思います。

**【村松(恵)委員】**

先ほどプレゼンテーションをされた浦川原桜つつみ公園を守る会の方たちがふるさと公園や安塚区の会場等と連携して、一大観桜会に発展させたいと言っていました。それに対して皆さんはどうお考えか、聞かせてください。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

良いことだと思いますが、私どもは規模が小さく、大掛かりなことに対応できないと思われま。例えば、観桜会のために1週間出なければならないとかとなったら、ボランティアでそこまで続けられるかというのが正直な気持ちです。「桜つつみ公園を守る会」さんの方は立地が良くて車で回れますが、私どもは小高い丘になっていてマイクロバスが入れる場所ではないですし、無理かなと思っております。反対という考えではないので、どうしてもというお話があれば仲間に入れていただきますが、積極的にということにはできません。

**【村松(恵)委員】**



はい、ありがとうございました。

**【水澤委員】**

今は有志の皆さんで取組をされていますが、将来的には規模の拡大等は考えておられますか。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

現在は40代～70代の15人の会員で活動しています。女性はいません。会合等で若い方の名前が上がる一方で高齢の方から退いていますので、新陳代謝はされていますが、現在は町内会の行事という位置付けではなく仲間が集まって行っている祭りという認識で、その形で当面は続くと思われます。観桜会の規模は上越方面からも見に来ていただいていますので徐々に拡大すると思われますが、資金面が問題です。

桜つつみ公園を守る会の皆さんや安塚のイベントと一緒に活動するかの面では、各地区の独自性を打ち出しながら連携をとることは可能だと思われますが、一足飛びに浦川原桜祭りとして行うことには不安を感じます。

**【水澤委員】**

各団体が独自性を持つなかで連携をとっていただき、是非、特色のある活動の展開をお願いします。

**【藤田会長】**

他に、何かありますか。

先ほども申しましたが、提案総額が区への配分額を大きく上回っています。減額があっても、事業実施されるかどうかを確認して終わりたいと思います。

**【ふるさと公園の桜を楽しむ会】**

よろしくをお願いします。

**【藤田会長】**

それでは、「うらスポマラソン大会」のプレゼンテーションをお願いいたします。

(うらがわらスポーツクラブが提案書に基づいて説明。)

**【藤田会長】**

ありがとうございました。委員からの質疑をお願いいたします。

では、北澤委員、五十嵐委員、村松勝藏副会長の順に発言をお願いします。

**【北澤委員】**

次年度以降の活動の見通しのなかに、マラソン大会は継続して行うとありますが、

今、ここでお金を付けてしまうと来年以降も付けなければ運営できないということになると思います。地域活動支援事業は現在、突然に減額されたり、次年度もあるかどうか分からなかったりという状況ですので、是非、市と打ち合わせをして市の体育事業として開催できないか、検討できませんか。

**【うらがわらスポーツクラブ】**

昨年、市へ相談させていただき、却下されました。市も財政難のなか、過去の実施実績でもあれば違っていたのかも知れませんが、新しい事業には良い答えが返ってきませんでした。

それから継続の話ですが、将来も若い方たちに引き継いでいただき、継続していきたいと考えておりますし、今回も浦川原中学校の全面協力をいただきました。小学校にも検討していただきましたが、距離的な問題や諸事情で協力していただけませんでした。しかし、今後は浦川原区の大イベントの一つとして加えていただき、小学校、中学校に協力していただきながら開催していければと思っております。

**【五十嵐委員】**

今回の申請額が180万円と高額ですが、仮に減額あるいは却下という結果だった場合は基金を使わざるを得ないと思いますが、そのことについて、どうお考えでしょうか。

**【うらがわらスポーツクラブ】**

市内各所にポスターを掲示してお知らせし、参加者の募集もしていますので大会を開催しないわけにもいきません。そうなった場合には基金を取り崩すしか方法はないと思います。ただ、この基金は平成13年頃に建設業協同組合からいただいたお金ですので、有効に活用して、ご恩に報いたいと思っております。

**【村松(勝)副会長】**

参加者が500人弱とのことでしたが、区内、区外からの参加者の内訳が分かりましたら、概ねで結構なのでお聞かせください。

**【うらがわらスポーツクラブ】**

中学校関係者122人を含めて浦川原区内は322人かと思えます。区内の参加者の割合が多いです。昨年の参加者は、区内、区外がちょうど半々くらいでしたが、今回は若干区内の方の割合が多くなっています。

**【水澤委員】**

事業の目的及び期待する効果の中に「地域住民に対しスポーツ振興と健康づくり

を行い豊かな地域社会の創造に寄与する。」とあります。今回は第2回目ですが第1回目に準ずる規模のイベントということで180万円の要望です。まず、区内のスポーツ振興に目を向けているのか、上越市全体のそれに目を向けているのかお聞かせください。

また、10年、15年の節目のイベント用に基金を残しておきたいと言われましたが、取り崩してしまえばなくなってしまいます。将来も続けようということなら参加費等で賄える大会の規模にしないと、基金を食い潰して将来がなくなるものと思いますが、そのことはどう考えていますか。

#### 【うらがわらスポーツクラブ】

区内と区外のどちらに目を向けているのかというご質問ですが、私どもはこのイベントを通じて浦川原区内のスポーツ人口を増やすことを考えております。その次に旧東頸城の3区の連携、最終的には上越、県、全国となると思いますが、当面は浦川原区内にしか目を向けていません。

また、基金を使えばなくなってしまいますので、それまでにスポーツクラブが力を付けて、この大会も参加費や協賛金の中で運営できるようにしていきたいと思えますし、他のイベントなどの収益を回して賄えるようにし、極力、基金に頼らないで運営するようになっていけたらと思っております。

先ほど話があった市の補助金も、前の年に却下されたからといって今年は出さないということではなく、毎年お願いしていきます。

試算すると、ゲストランナーを招待しなくとも50万円ほどの収入不足になり、その部分を何とかしたいと考えておりますし、体育館やグラウンドの業務を委託していただいている関係で企業努力をして、少しずつ浮かせておりますが、今後も企業努力をしまして、基金がなくなってしまう前になんとかしたいと思っております。

#### 【村松(千)副会長】

今回、私の町内に対して、豚汁のボランティアを10人ほど依頼されて選出いたしました。町内をランナーが通らないのにボランティアをしなければならないのかとの意見がありました。コース図を見ますと3コースともほとんど同じようなコースになっています。行きは同じでも帰りのコースでひとつでも多くの集落を回れるようなコースにさせていただき、旗でもいただきながら子どもからお年寄りまでが沿道で応援できれば、地域の活性化につながると思います。

#### 【うらがわらスポーツクラブ】

次回からは、5kmのコースで有島地内を回れるようにしますが、実は案では距離的に6.5kmとなってしまうので、スタッフや参加者の駐車場や荷物の問題等でどうしてもスタートとゴールを一緒にしないと行けないし、別々のコースにするとボランティアの人数や看板の経費等が余計にかかってしまうのですが、次回からは5kmのコースを変更し、有島や顕聖寺を通るように考えます。また、将来的には10kmのコースも別のコースにしたり、ハーフマラソンを追加したりするにすれば、月影地区や中保倉地区も回ることができると思います。回を追うごと、または節目の回ごとにコースを工夫しますが、有島に関しては、来年、考えるつもりです。

**【村松委員】**

ありがとうございます。有島だけでなく、今年はどうだったのか来年は別のコースという具合に考えていただければ良いと思います。

**【水澤委員】**

市の他の補助事業だと飲食と参加賞等は対象外になっています。参加賞も100円か200円程度が妥当とされていますし、給水所で参加者やボランティアにおにぎりや豚汁を振る舞うというのも補助事業からすれば対象外です。この部分で30万円とかなりの額を予算付けしておられますが、中保倉の独自のイベントで150人から200人程の参加者に豚汁を提供しましたが2万円位なので、そこから積算すると随分大きい金額だと思われ、果たして地域活動支援事業費を使ってそこまでするのが妥当かどうかと思います。地域活動支援事業では対象外にはなっていない項目ですが、もう少し節約できないものでしょうか。

**【うらがわらスポーツクラブ】**

クラブの理事会等でここを節約すべきだと言われれば仕方がないと思いますが、私的な意見としては、参加賞のTシャツや豚汁、おにぎり等は心情的には継続したいと思いますし、補助金における規制はこれから勉強したいと思います。

**【藤田会長】**

新しい項目としては、中学校が全面参加してくれるということです。また、食事の提供に対する指摘は今後の参考にさせていただきたいと思います。ただ、心配なのは走ったことによる心臓発作等の健康面でのことにも十分に配慮されていると思いますが、医療機関等との連携に配慮していただきたいと思います。

最後に、ご案内のとおり、提案総額が区への配分額を上回っています。減額があ

っても、事業実施されるかどうかを確認したいと思います。

**【うらがわらスポーツクラブ】**

よろしく申し上げます。

**【藤田会長】**

ありがとうございました。

続いて「和太鼓を通じた青少年健全育成事業」の提案をお願いします。

(保倉川太鼓が提案書に基づいて説明。)

**【藤田会長】**

委員の方々、ご質疑があればお願いいたします。

**【村松(勝)副会長】**

定期活動の中で、毎週月曜日と水曜日に練習をしておられるようですが、普段の練習の参加人数は何人くらいでしょうか。

**【保倉川太鼓】**

子どもたちが20人揃うことはなかなかありません。15人程度です。しかし、出演が近づくと全員が集まってきます。

女性チームと大人のメンバーは、ほぼ全員が毎週、練習をしております。いわゆる幽霊会員のような者はいません。

**【村松(勝)副会長】**

以前は、あの近辺は閑散としていて、練習するには非常に良かったものと思いますが、住宅街になってしまいましたので、太鼓の音で近隣家庭に迷惑が掛かるということはないのでしょうか。

**【保倉川太鼓】**

正直に申し上げて苦情、クレームはあります。どちらが先に建てたという主張をしても仕方ないので、地域との共存共栄が大切と思っております。総合事務所とも相談し、騒音対策として、夏にはエアコンもなく暑いのですが、窓を閉め切って汗を流しながら練習しておりますし、窓の内側に防寒用の建築材を張り付けていますので道場内が真っ暗になっています。その他にも、外側にベニヤ板等を打ち付けて音が外に漏れないようにしておりますが、一人でもこれだけの音量の太鼓を大勢で打っていますので、それなりの音になります。どうしても音は漏れてしまいますが、努力はしております。

**【杉田委員】**

太鼓は高価なものだと分かりましたが、現在、所有されている太鼓はどのようにして調達されたのですか。

#### 【保倉川太鼓】

大太鼓はおそらく何百万円もすると言われていたのですが、私たちが加入する前から有った品であり、うらがわらまつりの経費で買っていただいたようです。こちらの太鼓は4つで280万円でしたが、宝くじのコミュニティ助成事業で250万円の補助を受け、30万円の持ち出しと合わせて購入しました。中国製の太鼓は1台4万円で4台ありますが、これは会費で賄ったり、出演させていただいた際の祝儀などで買ったりしています。他のものも、昔からあったもの、安い品物を新しく購入したものなどですが、実は高価なのが締め太鼓で、1台20万円します。これも本会の会計の中から購入したものです。

#### 【山崎委員】

説明では、同じ音を出すには同じ太鼓で演奏しないといけないと言われていたのですが、例えば1台ずつ4年で購入したり、2台を2年で購入したりした場合、同じ太鼓を購入しても音が違ってくるのでしょうか。

#### 【保倉川太鼓】

こちらは平成22年に買ったもので、今年で5シーズン目になりますが、両方とも皮の張り替えはしていません。また、表側のみを使って、裏はほとんど使っていません。実際に音を聞いていただきたいと思います。(実際に太鼓を叩く。)

お聞きのように、微妙ですが裏側の音が高いのです。

『こなれてくる』と表現しますが、皮にひびが入っている状態が一番いい音がすると言われていています。5シーズン目に入ったこの太鼓が一番いい音がしています。このようなことから、何年かに分けて購入した太鼓は、1年目の太鼓と4年目の太鼓では皮のこなれ方が異なりますので音が違ってきます。

#### 【山崎委員】

今回、一度に4台を購入したとして、演奏会等で5台での演奏をする場合にはやはり音が違ってくると思いますが、それは許容の範囲ではないのでしょうか。

#### 【保倉川太鼓】

演奏会では、それを許容しないとステージに立てません。実はこの4台という提案も私たちが考える最低のラインであり、本当はもっと台数が欲しいのです。しかし、それは贅沢ですので、4台揃えれば、何とか手持ちの太鼓との調和がとれるだ

ろうという考えです。太鼓はその種類や購入時期によって音が違うので、太鼓のレイアウト等を工夫して調和をごまかすといえますか、同じような音として聞こえるようにします。

**【藤田会長】**

他にはありますか。よろしいですか。

ありがとうございました。太鼓を通して青少年の育成に努力したいということですが、非常に高額な提案であり、十分にお応えできるかはこの後の審査にかかっています。減額された場合でも事業実施をされるのでしょうか。

**【保倉川太鼓】**

いくらでもお助けいただければ幸いです。

**【藤田会長】**

分かりました。御苦労さまでした。

次に「霧ヶ岳登山普及啓発事業」の説明をお願いいたします。

(うらがわら山友会が提案書に基づいて説明。)

**【藤田会長】**

それでは、委員からご質疑をお願いします。

**【村松(恵)委員】**

道標に檜材を使用するとありますが、耐用年数はどのくらいなのでしょう。全国から来ていただいた登山者の方たちには、安全に霧ヶ岳に登っていただきたいので、配慮をお願いします。

**【うらがわら山友会】**

材料は檜を計画しています。当初、作成したものは主に杉材でしたが、12、3年が経過して朽ちています。檜のほうが材質的にも固いと聞いていますし、表示部分もアルミ材のプレートを使って文字を作りますので、直接にペンキで書いただけの表示よりも耐久性が高くなると思っています。今回、更新することで15年から20年以上はもつものと見込んでいます。

**【水澤委員】**

部材についてはプラスチック製の偽木もありますが、それを検討されたほうがよいのではないのでしょうか。

**【うらがわら山友会】**

どちらが安価かと偽木も検討しましたが、そうしたものは腐らないことから、破

損した場合を考えると撤去する必要もあるので、なるべく自然のものを使おうという判断のなかで、今回、檜材で提案しました。

【山崎委員】

案内板の色使いでは、太陽の光には黒が光に強く、強調する目的で赤等の色を使ったりすると、赤で書かれた「危険」などの一番大事な文字が早く消えてしまうようです。看板屋さんと相談してきちんとした仕事をするのでしょうが、文字を大きくするとか、書体を変えるなどの方法を使って、なるべく黒を使っただけで、より長持ちするのではないのでしょうか。

【うらがわら山友会】

標柱の文字の色は、基本的に黒にするつもりで、赤等の色は考えておりません。

【藤田会長】

他にはよろしいでしょうか。それでは、ありがとうございました。

予算に限りがございますので、減額があった場合でも事業を実施されるかを確認させていただき、最後にさせていただきます。

【うらがわら山友会】

会では、どうしてもしなければいけない事業と考えているため、減額されても自主財源あるいは会費の中から、また、場合によっては中保倉地域振興協議会の皆様にご相談させていただくなかで、実施したいと思っています。よろしくお願ひします。

【藤田会長】

ありがとうございました。

予定の時間に、少々、余裕ができましたので、5分間休憩とします。

(11時25分から臨時の休憩。30分から再開。)

【藤田会長】

再開します。

それでは、「地域憩の広場づくり事業」のご説明をお願いいたします。

(すずらんの会が提案書に基づいて説明。)

【藤田会長】

それでは委員のご質疑をお願いします。

【五十嵐委員】

以前は行政も関わっていたような説明でしたが、今後、社会福祉協議会との連携



をどのように考えておられるのかお尋ねします。もうひとつ、現在の会員が16人ということですが、浦川原区には対象になる方がもっとたくさんいると思われます。PR等については、この先、どのようにお考えでしょうか。

#### 【すずらの会】

行政の関わりでは、平成23年度に地域活動支援事業の採択をいただいたときに、コメントをいただきました。ひとつは、「関係機関、団体との連携を強化して、浦川原区全体の地域活性化を図ってほしい。」ということと、もうひとつは「できる限り広く会員を募集して、多くの方に福祉を提供してほしい。」とのことでした。五十嵐委員のご質問はこのことだったかと思いますが、具体的な関わりでは総合事務所の保健師さんが対象となりそうな方に見学に来るように勧めていただくとか、これから退院される方にも病院のケースワーカーさんが関係者の方と一緒に見学に来られるなどということがあります。メンバーの中でも、しばらく参加されていない方などに対しては保健師さんから様子をきかせていただいたりして、細々ではありますが連携をとっています。

会場の確保に困っていた時には、社会福祉協議会のほうからも声を掛けていただきましたが、荷物の保管場所が確保できなかったとか、また補助金の紹介もしていただいたのに、うまくマッチしなかったとかという経緯はあります。

活動に対しては社会福祉協議会にも理解していただいていますし、いきいきフェアを通して私たちの活動のPRなどをさせていただき、今後も連携を図っていきたいと思っています。PRに関しても、総合事務所に相談した時に、総合事務所だよりも掲載するのは難しいので、NPOのたよりに掲載してもらったらどうかと助言をいただきました。一度、原稿を提出しましたが、掲載されたかどうかまでは確認できておりません。

会場によっていろいろな方が出入りできる条件を整えば、毎回でなくとも作品の展示を兼ねてお茶を飲みに来ていただくよう声を掛けていければ良いと思っています。

#### 【村松(恵)委員】

すずらの会からは、行政のサービスが行き届かないところをカバーしていただいていると思いますし、参加されている方のお話でもその日が待ち遠しいということでした。

先ほど、市による意見では「備品等はユニバーサルデザインのものを使用するの

が好ましい」ということでしたので、通所している方が安全に使いやすいものの購入をお願いいたします。

少ない人数で、通所者のお世話をさせていただいていることに頭が下がる思いですが、あまり人数が増えると皆様だけでは対応しきれないこともあると思います。普通の施設ではないので、メンバー同士が助け合いながら通っている様子も聞いておりますので、頑張ってもらいたいと思います。

**【総務・地域振興グループ 保高班長】**

事務局から補足いたします。

先ほど委員には、付帯意見として担当課から要望があったことをお伝えしてありますが、まだ「すずらの会」さんには、お伝えしていない段階です。後ほど、改めてお伝えしたいと思いますが、「備品購入に当たっては障害のある方々がより使いやすい内容のものを購入するように心がけてください」という意見が、担当課から示されています。ご了解ください。

**【すずらの会】**

分かりました。ミシン等は最新式だと使い方が難しいので、なるべく皆さんが使いやすいような、操作が簡単なものを選んで使わせていただきたいと思います。

**【村松(勝)副会長】**

現在は任意団体ですが、将来、NPO法人などにする予定はありますか。

**【すずらの会】**

そのようにできれば良いとは考えていますが、現在は、まだ考えておりません。

**【藤田会長】**

他にありますか。それでは私から質問させていただきます。

総合福祉支援法を活用されないことについては、限定した障害だけを考えているのでしょうか。

次に、障害者手帳をお持ちの方々の支援も含めて活動されているのか、手帳を持たない方々もおられるのか。

もうひとつ。共同募金会等による地域活動支援のご活用をどうお考えか、お聞かせください。

**【すずらの会】**

身体的な障害をお持ちの方を受け入れる施設になっていませんし、軽度の障害の方が集まって交流を図るのが目的ですので、重度な障害の方などは受け入れが難し

いと思います。

心の病気の方で、重度の方が見学に来られたこともありましたが、適さないという事で適切な施設を選択されたこともあります。軽度の障害の方であれば受け入れが可能です。

障害者手帳を持っている方もいますし、手帳は持っていないけれど社会で就労できないということで年金を受給されている方もおります。

共同募金会の件は、ご質問の趣旨がわかりません。

**【藤田会長】**

共同募金会の件は、そういう制度があるので応募されてはいかがですか、ということです。

**【すずらの会】**

社会福祉協議会から、いくつか補助金の情報を頂戴しましたが、これから応募できる共同募金の補助金は平成27年度事業ということで、本年度には間に合わないということで応募できませんでした。

**【村松(千)副会長】**

心のケアと言われましたが、お茶を飲んだり、創作活動をしたりされるなかで、専門の先生等が来られてお話や講演などはされるのでしょうか。

**【すずらの会】**

来られている方には不安をお持ちの方もいらっしゃると思いますので、今後はできれば専門の先生から講演をしていただく機会も考えていきたいと思っています。現在はありません。

**【藤田会長】**

よろしいでしょうか。お時間の都合もあります。

予算に限りがございますので、減額があった場合でも事業をされるかを確認させていただき、終わりにしたいと思います。

**【すずらの会】**

いただいた金額のなかで考えながら活動させていただきますので、よろしくお願いたします。

**【藤田会長】**

ありがとうございました。

続いて「惣菜・高齢者夕食宅配事業」のご説明をお願いいたします。

(夢あふれるまち浦川原が提案書に基づいて説明。)

【藤田会長】

はい、ありがとうございました。質疑がありましたら、お願いいたします。

【中村委員】

もうすぐNPOの総会があると思いますが、今、ご提案いただいた事業を総会に  
かける予定でしょうか。

【夢あふれるまち浦川原】

本日の結果を待って週明けに理事会を開き、この結果を反映した事業計画書にし  
て、総会を迎えたいと思います。

【中村委員】

理事会や理事の中での、この事業に対する感触はどのようなのですか。

【夢あふれるまち浦川原】

以前から、理事等とはこういうテーマで話し合ってきましたし、学習会も行って  
おります。行政との協議もしています。その延長線上で高齢者の弁当も届けること  
まで事業化ができるような段取りとなっております。

【杉田委員】

宅配事業と惣菜事業の需要の見込みをどう見えていますか。

【夢あふれるまち浦川原】

ターゲットの絞り込みですが、スーパー、生協、農協の欠点を解消するように欲  
張って研究しております。なぜそれができるかという、1日に出荷する量を、金  
額で言えば5千円位で10ケース程度に設定しているからです。安全で、安心で、  
可能な限り無添加で、産地についても生協と提携しているような産地のものを考え  
ております。

まずは、13区の総合事務所にチラシを配布させていただくと、その地域には保  
育所があり、共働きの方がおられますので、そこにPRします。それから、ゆあみ  
へ来るお客様にもPRしますし、個々の努力で営業も行いたいと思っています。

最低月100人位のお客さんで回しながら、来年は200人規模にして、これで  
1200万円位を稼ぎだすと、食堂の売り上げ全体が3000万円ほどになります  
ので、その結果、足を引っ張る食堂から、地域に還元できる食堂になるものと思  
います。

【杉田委員】

高品質で安全ということで、そうすると高価格になると思いますが地域性を考えて、採算が合うとお考えですか。

**【夢あふれるまち浦川原】**

浦川原だけで考えていませんし、共働きで普段なかなか料理を作る機会のない方々や、ゆあみに入浴に来られる高齢者の方は食べておいしければ家族の方のために購入されると思います。お客さんからちょっと贅沢、ちょっぴり贅沢、プチ贅沢などの範疇で、家族の誕生日のような特別な日などに、日常よりも少し贅沢をしていただくというイメージです。

**【杉田委員】**

周知などは、どのようにお考えですか。

**【夢あふれるまち浦川原】**

まず、6月24日に初出荷しようとの計画を立てており、6月13日頃にはチラシを配布しようと思っております。今回、予算を認めていただければ、同時にホームページも立ち上げます。印刷物でカラー刷りしていたら、お金がどんなに有っても足りないので、ホームページ上で見て注文していただき、ロコミで輪を広げていくようにしたいと考えております。

**【村松(勝)副会長】**

提案書の補助金希望額の欄が空欄になっていますが、これは事業費と同額と考えればよろしいでしょうか。浦川原区の配分額は限られているので、減額された場合には事業実施できるのかをお聞かせください。

**【夢あふれるまち浦川原】**

覚悟を述べますと、事業を成功させて、ゆあみを地域の皆様に喜んでいただける施設にしたいと思っておりますので、補助金額の大小にかかわらず、この事業は行います。

ご指摘にありましたが、提案金額は250万4千円に対して239万4千円の支援をいただきたいということで、事務管理費、雑費等は私たちが負担いたします。大山温泉と比較してデータを分析しますと、この道しかないと思っております。この近辺の皆様にくら食事に来てください、と言っても無理なのですから、別の形で皆さんから喜んでいただけるような食の提案をしながら、その延長でゆあみに寄っていただこうと考えています。ちなみに灯の回廊の状況をお話ししますが、昨年、初めて中保倉地域振興協議会の皆さんと協力して、一緒に取り組みました。今年は雪明りも増え、2千本になりました。来年は3千本にしようという話し合いをして

います。1年かけ、2年かけて、今年のイベント時の食堂の売り上げは、かなりの額になっています。こういうおいしいもの、良いものは継続していくことによって道が開けるものと感じていますし、皆さんの協力が不可欠だと、改めて感じたところです。

**【藤田会長】**

はい、時間も来ましたので、水澤委員で最後にしたいと思います。

**【水澤委員】**

あさひ荘の経営もだいぶ盛り返してきているとの情報もあり、夜の営業も行うと聞いておりますが、行政は承知していますか。

**【奥田所長】**

検討中と聞いています。一時的な営業とも聞いており、まだ検討中です。

**【水澤委員】**

分かりました。まず、食材宅配弁当等で基盤を作って、それから食堂部門の力をつけるということだと思いますが、お隣のあさひ荘も努力しているようですので浦川原区も遅れないように、追い越す位の勢いでやっていただきたいと思います。そのあたりの覚悟はいかがでしょう。

**【夢あふれるまち浦川原】**

私は、今回でNPOの職を辞す方向で、改革推進委員会で進めることになっていましたが、皆様からゆあみの経営をなんとかしてほしいと言われております。地域の皆様からそう言われたことと、船を漕ぎだした責任もあるので中途半端な格好で投げ出すのも私の本心ではありません。

食材をやり始めますと、相当強い覚悟でないと続けられませんので、それを押し量っていただきたいと思います。

**【藤田会長】**

はい、時間も参りました。

地域協議会でも4年間、NPOの立て直しと同時にゆあみを立て直してほしいとお願いをし、理事長も今年が正念場であるとのことですので、これから慎重に審議してまいりたいと思います。

先ほど、村松さんが質問しましたが、予算に限りがございますので、減額等された場合でも事業を実施なさるでしょうか。

**【夢あふれるまち浦川原】**

先ほども申しましたが、金額の大小ではなく、これをしないと「ゆあみ」から撤退しなければならなくなりますので、とにかくやるしかないと思っております。

【藤田会長】

はい、ありがとうございました。

委員の皆さま、お疲れ様でした。これで7団体のプレゼンテーションと質疑が終わりました。これから休憩に入ります。昼食後、午後2時から全体審査を行いますので、この会場にお集まりください。

(12時32分、休憩開始。14時00分、審査を再開。)

【藤田会長】

それでは、全体審査を始めます。事務局から、午前中の集計結果のご説明をお願いします。

【総務・地域振興グループ 保高班長】

(以下、採点結果一覧表に基づいて説明。)

【藤田会長】

皆様方から点数を付けていただいた結果、それから、意見は特記事項にまとめていただいていますので、このあと、皆様からご意見をいただき、採否、却下もあるかも知れませんが、審議をお願いしたいところです。進め方として、まず、全体的な見方をしていただき、次に個別の提案にご意見をいただいて進めてまいりたいと思いますが、全ての案件を採択するというところで、いかがでしょう。

(場内から「はい。」の声。)

それでは、皆さんからご意見をどうぞ。

【池田委員】

提案の合計額が配分額をかなりオーバーしていますが、合計点数の順位、提案額の低さを考えて、個人的には5番の「うらがわら山友会」と6番目の「すずらんの会」には全額を補助したらどうかと思います。

【藤田会長】

具体的には「霧ヶ岳登山普及啓発事業」の23万円と「地域憩の広場づくり事業」の10万円のことでですね。

【池田委員】

すみません、もう一件、ありました。2番目の「ふるさと公園の桜を楽しむ会」の18万円ですが、点数的にも215点と高いので、これも含めて3件を全額で採択したらどうかと思います。

#### 【藤田会長】

まず、小額の案件からお話が出ました。

いかがでしょうか。私からですが、4番目の「和太鼓を通じた青少年健全育成事業」について、気になったのは全部揃わないと音が揃わず良い演奏ができないことから、4セット一括購入という提案でした。これには「技術でカバーせよ。」とか「文化団体の支援を受けられないのか。」などと様々な意見が出ております。民間財団が、こういう活動を募集している例も多数あります。議長の私が発言すべきではないと思いながらも、全部揃わないと困るというところが引っかかりました。そうすると279万円全額をとということになります。来年に回していただきたいと考えます。いかがでしょうか。来年を約束できないけれど、次回に再度、応募していただけないかと思っています。来年、応募していただけるか分かりませんが、これを含めて、皆さんからご討議いただきたいと思います。

#### 【村松(勝)副会長】

今、会長から保倉川太鼓についてのお話が出ましたが、全部が揃わないと良い音にならないということでした。私も事前に、配分額を考えると全部は無理だろう、1台ずつでどうかと考えていたところ、4台揃わないといけないとのことで、一度に4台揃えて差しあげたほうが良いかなと思っています。今回、配分額が550万円しかないなかで279万円を投じることになると、他の提案にも影響が出ると思うので、再提案をしていただいて、4台を揃えたほうがいいのかと思います。

また、7番のゆあみの「惣菜・高齢者夕食宅配事業」については、前の期の地域協議会の頃から、ゆあみを何とかしたい、あれが無くなると中保倉地域が寂れるのではないかということで、地域協議会のなかからゆあみ対策の委員を選定して、地域起しの応援をしてきたところ。説明を聞くと、今年が最後だな、方向付けをするには今年で縁を切る頃かななどの考えや、今後、本当に存続していけるのかなとの心配も感じたので、最後の年の勝負どころという意味で支援をしてあげたいと感じました。

#### 【水澤委員】

太鼓の件ですが、プレゼンテーションの時には4台を一度にとということではなく、



可能な限りの支援をしてほしいという説明だったと思います。

一方、3番目の「うらスポマラソン大会」ですが、支出の内容を見た場合に70%位が地域活動支援事業の金額を当てにした取組になっています。地域活動支援事業では他の補助金と違って、飲食、賞品等は認められるとのことですが、余りにも大盤振る舞いであり、更に将来も続けたいということであれば、身の丈に合った、このような補助金を当てにせず自分たちで実施できる内容のイベントとして、地域の振興のために頑張ってくださいということが大事と感じています。無理してパフォーマンス的なイベントをしても続かないだろうと思います。ふるさと公園の桜を楽しむ会の取組みのように、まずは自費を投じて、地道な活動を行うのが地域づくりの大原則ではないでしょうか。厳しいことを言うようですが、去年はキックオフでしたのでゲストランナーに100万円、今年2回目でゲストランナーに70万円というのは個人的にはいかがかなと思いますので、180万円での提案ですが<sup>ゼロ</sup>0円でもいいかなと思います。

それと、1番目の「地域活性化モデル事業」ですが、支出の内容を見ると、一時的にリースやメンバーの持ち寄り等で可能な内容が計上されているので、積算しますと概ね100万円以下、80万円位あれば来年度に向けての事業が可能だと思います。ふるさと公園の桜を楽しむ会の取組も参考にいただければと思います。

そのようなことで個人的には、「地域活性化モデル事業」は80万6千円、「ふるさと公園の桜を楽しむ会」は提案額の満額18万円、「和太鼓を通じた青少年健全育成事業」に対しては120万円減額して159万円、「うらスポマラソン大会」については<sup>ゼロ</sup>0円でも良いかと。この件について、もし昨年並みに20万円程度でという判断があれば、どこかで調整していただければと考えています。

#### 【山崎委員】

「地域活性化モデル事業」に関しては、先ほども質問しましたが、リースなり借り上げなりで可能なものが多くあり、今、減額して80万円という意見も出ましたが、もっと減額しても良いかなと思います。2番目の「ふるさと公園の桜を楽しむ会」の時にも3回ほどに分けていますので、その整合性から見ても、減額で良いと思います。

「うらスポマラソン大会」は、ゲストの費用を除いても110万円の補助が必要な内容になっています。仮にゲストがいなくても、毎年110万円も補てんが必要な内容で、今後も継続が可能かどうか。1年や2年は派手に大盤振る舞いするとい

う判断は有りなのですが、やはり身の丈に合った運営をしていただくべきだと思います。ただ、やはり0円という訳にもいかないので、昨年並みか少し上乗せした金額が妥当かなと思います。

「和太鼓を通じた青少年健全育成事業」ですが、音が異なるから要らない訳ではなく、いただければとのお話でもあります。2台、また次回2台でも採択したらどうかと。4台での演奏ばかりじゃなく5台の時もあるでしょうし、今まで所有していた太鼓と合わせて演奏するものと思いますので、一度に揃えなくても良いと判断しています。

「霧ヶ岳登山普及啓発事業」、「地域憩の広場づくり事業」は提案額満額ではないでしょうか。

「惣菜・高齢者夕食宅配事業」についてです。私が地域協議会に出るようになって3年目ですが、毎年、ゆあみを人質にとったような要求と言うか、「これが無いと逃げ出すぞ。」とか「成り立たない。」とか、そうした内容のように感じます。中身を見れば厨房設備のような備品類ですよね。NPOと補助金との関係は分かりませんが、一般企業であれば利益供与みたいなものですよね。もっと拡大解釈をすれば官の民への圧迫ではないかと思われま。例えば、この近辺で料理屋さんを営しているお店もありますが、そういうお店には補助金など無い訳です。全くの同じ土俵に乗せるのも難しいと思いますが、買うものが厨房設備ということで、もう少し頑張っていたきたいので、減額してしかるべきだと思います。

#### 【村松(恵)委員】

若い方達が企画し、子どもたちや中学生も参加する素晴らしい事業ですので、「うらスポマラソン大会」には、満額でなくとも半額程度を配分したらどうかと思います。保倉川太鼓さんも、様々なイベント等に参加して、プロ並みの演奏をしてくれています。若い人たちの、そういう活気に溢れた活動に対し、2セット分くらいは差しあげたいと思います。

「惣菜・高齢者夕食宅配事業」ですが、これは誰のための事業でしょうか。私には理解できません。今まで、地域協議会でも応援してきたところですし、今年が最後だからということで応援してあげたい気持ちもあるのですが、もう少し計画を見直して、減額していただきたいと思います。

#### 【藤田会長】

はい、ありがとうございました。

地域協議会の今後ということも含めて、お考えいただきたいと思うのですが、長期と中期と直近と、皆さんもいろいろとご検討のうえで、提案書を提出されております。

私の考え方が変わっているのかも知れませんが、「桜つつみ公園を守る会」の活動に関しては、金額はともかくとして末広地区と下保倉地区の大勢の方々が参加されていて、さらに浦川原全体でボランティアを募集しているなかで、今回は30人弱で行ったということで、このことの重さを考えていかなければならないと思います。区の住民が全員参加できる事業だろうと思っております。

それから、ふるさと公園の桜を楽しむ会による5年間のご努力は、私も拝見してきております。15人くらいで地域を盛り上げていただいたということで、今後、どう受け継いでいただくかがポイントとなってくると思われまます。それと熟成期になって、実際にやってみたらイベントの運営費が不足してしまうということだと思われまます。100万人観桜会ということで高田公園を見た場合は、全て市が管理しており、それを考えますとこの努力は大事にしていかなければならないと思います。

「うらスポマラソン大会」ですが、先ほども継続できるのかというご意見もありました。来年からはゲストは呼ばないということですが、補助金がカットされたら基金を取り崩すということでした。しかし、これも誰でも参加できる取り組みであると同時に、中学校の授業の一環となっておりますので、そのことに皆さんからも配慮していただきたいと思われまます。

ゆあみ関連事業についてですが、私が地域協議会会長として責任を感じるのは、この5年間、そもそもゆあみをどうするかというところから始まった問題であって、それに併せて、弱体化していくNPOを住民活動の拠点としてどのように維持していくかという2つの点から討議されたはずなのです。地域協議会から、NPOにゆあみの運営をお願いし、お達者クラブ、戸口から戸口のタクシー輸送等が始まりました。

さらに、集客のための手段として、食堂を再開しなければならないとのことでした。お客さんの便宜を図るように食堂を再開したけれども、思うように収益が上がらないというのが現実だと思われまます。

理事長も言っていましたが今回にかけるということであり、今年度収益を上げなければ、来年度、検討されている指定管理の準備に入れられないという辛さがあると思われまます。地域協議会の顔ぶれが変わろうと、その責任は地域協議会にあると思われまます。

す。私は、理事長が今年に賭けるとおっしゃったのは、非常に堅い決意の表れだろうと聞いておりました。

**【水澤委員】**

皆さんの意見が出ました。最終的には数字決着になるので、私から提案します。

「うらスポマラソン大会」は、昨年よりも事業費が若干、減ってはいますが、補助金は昨年並みの20万円として、「地域活性化モデル事業」は「ふるさと公園の桜を楽しむ会」の過去5年に渡る経緯等を参考にしながら、数字合わせになりますが80万6千円、保倉川太鼓さんの提案事業は159万円として、その他の事業は、先ほどからお話が出ているとおりの提案額どおりということで、いかがでしょうか。

**【藤田会長】**

NPO夢あふれるまち浦川原についてはいかがでしょうか。満額でとお考えですか。

**【水澤委員】**

地域協議会としてお願いした経過から、手当てする責任があると思いますので、止むを得ないと思いますし、立て直しに頑張りたいと思います。

**【藤田会長】**

水澤委員から具体的な数字の提示がありました。これについて、ほかに数字的なご提案があれば、お伺いしたいと思います。

**【池田委員】**

水澤委員がお考えを話されたところですが、3年前でしょうか、私が初めて地域協議会の委員になったときに、どういうふうに採択の優先順位を付けるのかを確認したところ、順位は点数の高いものを優先するのが原則だと会長から確認していただいております。それを踏まえてこの採点表を見ると、先ほどから「うらスポマラソン大会」には中学生が参加すると評価する意見が出ている一方、支援金を当てにしているのご意見もありました。

また、夢あふれるまち浦川原の提案には、村松副会長や水澤委員からも応援してあげたいという考えが出されましたが、プレゼンテーションの時に杉田委員が販路の質問をされたように、商売ですので利益を上げなければならない訳ですが、その時の理事長のお答えを聞いても、私は、今一つどうなのかなと思いました。

私は地元でもありますけれど、夢あふれるまち浦川原の理事長が減額されても正念場だからやるとおっしゃっていましたが、だからと言って、これに全額を認める

ということはいかななものかなと思いました。

**【藤田会長】**

今、具体的に額面は出ませんでした、順位付けに対する雰囲気は、皆さんも受取っていただけたと思います。

それから、公益性と必要性で点数を仕分けてある訳ですが、ここの部分を皆さんからお考えいただいて、将来、どの方向へ進めていくのかの動機づけも考えていかなければいけないと思います。金額だけに執着してしまうと、なかなか前に進んでいかない内容もあります。ご指摘の「うらスポ」あたりは、安くても良いのではないかというご意見も出ましたが、子どもたちも喜んで参加していますし、親子で保育園の子どもたちと走ったり歩いたりしていることもあるので、将来の芽を育てていくということにご配慮を戴かなければいけないと思います。

**【杉田委員】**

実際に、配分額が皆さんの希望の額より少ないので、どこかを削ることが必要なのは皆さんご承知と思いますが、やはりこの7案件の全てを採択するかと会長が問われた時に皆さん承知されたので、この7件全てに補助金を分配するのを前提として、金額が大きいところに少し我慢していただくしかないかと思います。どれを残すかと言えば、会長がおっしゃった、将来の見通しなども考慮すべきでしょうけれど、私もいろいろ考えながら説明を聞いてきまして、減額されてもできるような印象を受けましたし、小額のところは小額なりに頑張ってきたので、そこは考慮しながら、何百万円と言うところは、少々、減額していかないかと駄目だろうと思います。

**【藤田会長】**

7件の全てを採択するということですね。

**【水澤委員】**

そこだけは、確認していただきたいのです。

**【藤田会長】**

保倉川太鼓からは、来年度、再度、応募していただければ良いと申し上げました。まず、民間の団体であり、収益も上げているということもありますので、ご配慮いただきたいと思います。それから、音合わせ等々のお話もありました。確かに、これまでも多少のことは我慢していただくしかないとの意見が出されましたが、プロの域に達している方々にとっては、そうはいかないということでしたし、逆に、小

額でも採択したほうが良いとの意見もありまして、そこはお金が絡んでおります。何度かに分けてとのことですが、完全に独立した民間団体であることを頭に入れながらご検討いただきたいと思います。

**【杉田委員】**

保倉川太鼓の件ですが、やはり長年やってこられたことと、上越地域でも名前が知れているということは、それなりに頑張っていると評価するべきだと思います。今後の見通しという点でも、この事業が即、青少年の育成に繋がるかと言えば分かりませんが、文化的な事業として我々が少し力を貸してもいいのではないのでしょうか。全額を削って、来年また出直せなどとも言えないだろうと思いますので、できれば今年半分、来年また半分で、今後も頑張ってお活動してくれないか、というのが私の気持ちです。

**【藤田会長】**

池田さん、虫川のトイレは1年待ちましたよね。

**【池田委員】**

委員の皆さんの暗黙の了解ということで、その年は却下というか見送りで、翌年に高額をいただいて実施しました。

続けて発言しますが、保倉川太鼓につきましても、出演の依頼が飛躍的に増えているということですし、私たちも実際の演奏を何度も見させていただいていますが、本当に有名になって、一時は無くなりかけたものを次世代に引き継いでくれています。ただ、一年待たせて来年で全額という意見と、今年2台分、来年2台分という2通りの考え方があります。その辺をみんなで考えていただきたいと思います。

**【藤田会長】**

<sup>ゼロ</sup>0円か2分の1かということになりますが、長期的なもの、中期的なもの、短期的なもので考えていただき、少なからう悪からうという形でなく、委員として、ここはこれで最後だよときちんと言うことも大事だろうと思います。やはり将来を見据えたうえで判断して欲しいと思います。というのは、やはり、配分額の550万円は税金ですから、あちこちの顔を立てるべきというのも一つの方法だけれど、浦川原区地域協議会としてどう判断したのかという責任の重さを考えながら審査していただきたいと思います。ゆあみに対しては批判があることを私も良く承知しておりますけれど、彼らは今年でプラスにしなければ終わりだとの決意を述べています。確かに、この予算を付けて大丈夫なのかと言われれば、やってみなければ分からない

い部分はあるのです。そこを我々、協議会が割り切って進めていくかです。理事長本人には、総会で次の理事長に引き継ぐ前にといい思いはあるだろうと思います。

#### 【村松(勝)副会長】

私も具体的に金額を提示させていただきます。

桜つつみ公園を守る会、200万円。ふるさと公園の桜を楽しむ会、10万円。うらがわらスポーツクラブ、110万円。保倉川太鼓は、来年度での再提案に期待を申し上げたいと思います。山友会、20万円。すずらんの会、10万円。NPO 夢あふれるまち浦川原、200万円で、合計550万円です。

#### 【村松(千)副会長】

私の考えですが、この事業は地域活動支援事業ということですので、先ほど会長がおっしゃったように団体、公益等で分けて考えてみました。先ほどからいろいろ案が出ていますが、少額の提案には全額を、高額の場合は減額して、という意見がありました。それはそれで、そうかなとも思いますし、他方で、全体に平均的に配分したらという案にもそれぞれ納得できます。地域活動支援事業の趣旨に照らせば、この7つの団体は全て地域の発展のために活動されており、子どもからお年寄りまで参加されていますので、皆さんの意見にもなるほどと思えます。

私の意見では、1番目の桜つつみ公園を守る会は、その昔、村役場が植えて今では誰も管理していない桜を、浦川原の大切な資源として管理していこうと昨年活動を開始したもので、いざ活動を始めてみると素晴らしいことなのだな、本当の地域活性化とは地域住民が地域おこしを行い、それによって外貨を稼ぐという観点から言って、ボランティアでお金のないところから始められたことは素晴らしい活動に当てはまるのだろうと思っています。村松副会長がおっしゃったように、この団体に200万円というのは妥当ではないかと思っています。

次のふるさと公園の桜を楽しむ会ですが、既に3、4年、活動しておられます。でも、仲間や集落の皆さんと一緒に頑張っておられるので、維持管理を考えて10万円というのは妥当だと思います。このお金を活用して、また頑張っていたきたいと思います。

うらがわらスポーツクラブですが、コースが一部の地域しか回っていないことから、少しおかしいと思って意見をしましたが、来年は別の集落もコースに入れるとの回答でしたので、お金の使い方を良く考えていただきながら、頑張っていたきたいと思います。そして、また中学生も参加して、スポーツに懸命になれるという

ことは良いことだと思います。希望額全額は出せませんが、110万円との案は妥当だと思います。

保倉川太鼓は、上越地域や県外からも信頼されている素晴らしい活動だと思います。個人的には半分位は出せればと思いますが、配分額が足りない状況から、太鼓を4台一度に購入したいということであれば予算オーバーなので、今年は見送っていただきたいと思います。

山友会は、ここまで頑張っていて、雪解けから山側の木を切ったり直したり、ボランティアでしていらっしゃると思いますので、20万円は妥当だと思います。

すずらんの会は、一生懸命に心のケアをされておりますので、10万円が妥当だと思います。

夢あふれるまち浦川原の案件ですが、正直、団体の総会も終わっていないのにどうなのだろうと思いつつ、無謀かなとも思いますが、今年が最後とのことですので、200万円が良いかと思います。

#### 【藤田会長】

山崎委員は、どうお考えでしょうか。

#### 【山崎委員】

いろいろ意見をお聞きしましたが、私は全案件を採択すれば良いとの考えです。

金額的には、桜づつみ公園を守る会は、今すぐ買わなくとも借りて費用弁償でも良いという内容のものがかなりありますし、先ほど話が出ましたが、連携をとればふるさと公園の桜を楽しむ会から消毒機械なども借りられますので、地域が盛り上がっているという話は分からない訳ではないですが、節約というか、利用できるものは有効に使えば良いと思います。ですから、ここは80万円。

ふるさと公園の桜を楽しむ会は、維持管理費ですし、継続のためにも必要と思いますので満額の18万円。

うらがわらスポーツクラブは、勇み足というかフライングですよね。ほとんどの事業費を、地域活動支援事業を当てにして、ポスターなども作製しています。昨年と同じことを言いましたが、フライングなので、本当は懲罰に値するのかなという位に私は思うのですが、ここは100万円。

保倉川太鼓は、来年という意見もありますが、早く練習もさせてあげたいし、会員数の増え方からしても購入したほうが良いと思いますので、119万円。

山友会とすずらんの会は満額で、それぞれ23万円、10万円。



夢あふれるまち浦川原ですが、皆さんも会長の言葉に有るように、我々が推したのだから責任を持たなければいけないという言葉を取られているようで、腑に落ちないのだと思うのです。毎年、毎年、新たな理由を付けて、「これが最後」という言葉を3年連続で聞いている気がするのですが、ここに200万円を配分することで、550万円になると思います。

**【池田委員】**

今の山崎委員が言われましたゆあみの件で、誰でもそうですが自分が関わってきた地元のことには力が入るということは止むを得ないことかと思いますが、金額的な面では、山崎委員の配分した金額の案が良いと思います。

**【藤田会長】**

水澤委員は、先ほどとお考えは変わってきたでしょうか。何かありますか。

**【水澤委員】**

もう一度、言わせてください。「うらがわらスポーツクラブ」の提案書を見ていただくと、ゲストラナーに70万円、参加賞のTシャツに41万円、飲食の供与で30万円と、これだけで140万円です。2回目なので、もう少し元気を出したいという気持ちは分かりますが、地域活動支援事業の配分額自体も減っているのだし、参加者個人に振り撒くような予算付けは、たとえ地域活動支援事業であってもいかがかと思います。ですから、これを精査すれば、やはり100万円とか110万円というのは、私は付け過ぎだと思います。丸っきり、助成事業で参加者に飲食させているようなものですから、ここを締めないと今後のイベントが続かないだろうと思うのです。やはり、収入額の範囲で運営するのが原則ですので、ここはやはり皆さんも再考をお願いしたいと思います。昨年並みとは言いましたが、そこは、若干プラスされても良いかなとは思いますが。

夢あふれるまち浦川原については、今、池田委員が地元のこととなればとおっしゃいますが、私は地域協議会委員は区を代表する立場との観点から、地元優先の考えをしたつもりはありませんが、いずれにしても、会長が言われたように、協議会委員が変わっても地域協議会としての付託事項ですので、その辺りの認識をいかに共有していただけるかというところで、額が決まってくるだろうと思います。

恐らく、山崎委員の言われることもよく分かるのですが、協議会がNPOに託したという流れもしっかりと押さえていただいて、再考すべきだと思います。

以上、2点について、もう一度皆さんから協議をお願いします。

【藤田会長】

「うらスポマラソン大会」では、飲食や参加賞に充てている金額が高額であるという指摘であり、将来立ち行かなくなるのではということでもあります。

【村松(勝)副会長】

水澤委員、もう一度、具体的な数字を教えてください。

【水澤委員】

桜つつみ公園を守る会、80万6千円。ふるさと公園の桜を楽しむ会、18万円。うらがわらスポーツクラブが20万円。

保倉川太鼓は、私たちもイベント等でお世話になっていますが、やはり地域を発信する力をお持ちですので、それなりの公共性を持っているのだと私は思います。文化事業団体としても市から指定されています。元気を出せるところから出してもらうことも、浦川原区を発信する良い手法だと思いますので、159万円が妥当だと思います。

山友会、23万円。すずらんの会が10万円。夢あふれるまち浦川原が、239万4千円ということで、550万円になると思います。

ここへきて譲歩するとすれば、「うらスポマラソン大会」に対しては若干の金額変更があっても良いと思いますが、昨年も20万円で実施してくれたので、綱紀肅正の観点からも昨年並みが妥当かなと。あまりにも個人を対象にしたような支出が目立ちますので、そこはやはりストップをかけなければならないと思います。

くどいようですが、桜つつみ公園を守る会の提案については、本当はドンと差し上げられれば良いのですが、私は山崎委員と考えが同じでして、発電機等は地域の皆さんに持っている方もいらっしゃいますし、防災上の発電機もあり、中保倉のふるさと公園の桜を楽しむ会もそうした品物を自分たちで出し合うことこそがコミュニティ活動ということで手当てしていますので、とりあえずはこの金額で頑張りたいと思います。また来年での提案でも十分に間に合うものと思いますし、来年の約束をしてはいけないのですが、私の心のどこかに、皆さんの心のどこかに、少しだけしまっておいていただければと思います。緊急性はないと思いますので、80万6千円という中途半端な数字を提案しました。

【藤田会長】

それぞれのお考えに隔たりが大き過ぎて、私も調整しにくいのですが、我々10人の視点をどこに置くかを議論しているものと思っております。

**【村松(勝)副会長】**

私も先ほど、太鼓は一度に購入した方が良いのではないかとということで、再提案をお願いするべきとしました。先ほども大スギのトイレの話題が出ましたが、この時も当初、減額という話もしましたが、やはり一時に造らなければいけないということで、1年間見送った経緯がありました。太鼓も一度にとということでしたら、再提案をいただいて単年度で認めて差し上げるべきかと考え、今年は見送ることを提案したところです。

**【五十嵐委員】**

今の村松副会長の意見に対してですが、太鼓の購入を今年度は断念して、来年、一度に購入したらどうかということは、早い話が来年度での採択を今回、決定するということですか。

**【村松(勝)副会長】**

そうではなく、私の意見です。

**【五十嵐委員】**

あくまで個人的な意見ですか。

**【村松(勝)副会長】**

そうです。

**【五十嵐委員】**

それなら結構です。

**【藤田会長】**

よろしいですか。

いろいろな考え方があると思いますが、来年度も浦川原区に550万円の配当額が付くと決まっている訳ではありませんので、単に虫川のトイレの話題が出たので言われたことと思います。

**【山崎委員】**

虫川のトイレの話が出ていますが、トイレと太鼓を同じに考えるのはいかがでしょうか。トイレを半分だけ造って、止めるというわけにはいかないですね。だから一昨年、1年間待ってくれという話にしたのだけれど、太鼓は分けられるじゃないですか。1台ずつとか2台ずつとか、まず3台とか。トイレの件は前例にはならないと思います。

**【村松(勝)副会長】**

トイレを半分だけ造るという話をしたつもりはないのですが、要は虫川の自治会として負担を増やせば良いという協議もあったものですから、それと比較して、同様に次年度に再提案いただければ良いのではないかという意見です。

#### 【藤田会長】

混乱の種なので虫川の話は置いておきまして、山崎委員の意見はトイレの件と結び付けるのはおかしいのではないかということ、五十嵐委員は来年度のことを今、話し合うのはナンセンスだということですが、是非、お願いしたいのは、長期的なもの、短期的なもの、それから即座にというものを考えながら、協議をお願いしたいと思っています。太鼓は購入を待てないものではないだろうということと、マラソン大会の案件には注文をつけて、今回はこういう意見が出ていますのでそのようにお願いしたいなど、ある程度は皆さんから配慮していただかなければいけない問題だと思います。

太鼓については一括でもでも良いし、分けて購入でも良いと思います。2台分という意見も出ています。

#### 【村松(千)副会長】

繰り返しになりますが、地域活動支援事業のためにボランティアが立ち上がった桜つつみ公園を守る会の件ですが、200万円という数字は多分、大きい金額かと思えます。リースなどを活用すれば良いなどのご意見が出て、確かにそうだと思いますが、これから立ち上がってやろうとする意気込みを買ってあげるための地域活動支援事業ではなかろうかと思えます。細かく言えば、太鼓の件にも2台で良いのではないかとか来年にしたほうが良いとかという意見も出ています。ゆあみの件にも最後だから満額で認めてあげたいなど、地域ごとの事情によっていろいろな意見がありますけれど、地域活動支援事業の趣旨に照らすと、やはり何も無いところからみんなでやろう、そして盛り上げていこうという意気込みを評価して、私は200万円という数字を提示いたしました。

意気込みを買うということが、これから新しい事業を立ち上げる方たちにとって参考になりますので、そうした面から今回は、自ら立ち上がったという事業に対して全額という評価をしたほうが良いのではないかと思います。皆さんいかがでしょうか。

#### 【山崎委員】

会長からも先ほど、猶予できるものとできないものの峻別という話があったとこ

ろでして、満額の200万円というお話ですが、意気込みと金とは別の話だと思います。それから、最初に申し上げましたが、ふるさと公園の桜を楽しむ会が立ち上がったときに、補助金も何回かに分けてくれましたよね。その時の意気込みというのは同じものだと思うのです。それを意気込みだけで満額つけてくれというのはどうかと思うし、峻別を付ければ付けるほど来年まで待てるものがあるじゃないですか。ですから、満額というのは無理だろうと思います。満額をつけて一括で購入してしまったら、来年はすることが無くなってしまいますよ。

**【村松(千)副会長】**

今、山崎委員が、ふるさと公園の桜を楽しむ会は、何年かに分けて交付されたとおっしゃいましたが、ふるさと公園の場合は自分たちの有志で立ち上げたものです。桜つつみ公園を守る会は末広、浦川原区全体に呼びかけて立ち上げて、これから元気を出そうということですので、立ち上がりの趣旨が違うと思います。私はその意気込みを買うと言ったつもりです。

**【池田委員】**

水澤委員から再考をということでしたので、私は先ほど、山崎委員と金額は同じと発言しましたが、考え直しました。私なりの金額の配分を提示いたします。

桜つつみ公園を守る会、100万円。ふるさと公園の桜を楽しむ会、18万円。うらがわらスポーツクラブは昨年も20万円でやっているのだからということと、先ほどもフライングではないかという意見があり、そういう印象も受けましたのでここは20万円。保倉川太鼓は150万円。山友会、23万円。すずらんの会には、10万円。残りの全額、229万円を夢あふれるまち浦川原にというのが私の考えです。

**【村松(勝)副会長】**

先ほど山崎委員から、桜つつみ公園の桜の話がありました。今回、発電機が2台しか提案されていませんが、長走の個人で持っている方から借りた分も含めて、今年は6台を使用しております。それでも電源が不足して、投光機で桜を映し出す能力が足りませんので、当然、この2台を購入しても、かなりの距離があるために電源は賄いきれません。片側の岸だけでさえ、この2台では電源が足りませんので、やはり3~4台をリースしないと、今年のようににはできないと思います。来年からやることがないのではないかとの意見がありましたが、発電機2台程度では、あの距離の電燈を灯すことはできません。

【山崎委員】

あの場所は、家庭用の電力が行っている地域なので、東北電力から臨時みたいにして取れませんか。それも検討されましたか。そうすれば、発電機の比ではないですよ。

【村松(勝)副会長】

東北電力にも当然、相談をしておりますが、かなりの費用がかかります。それでも、地域活動支援事業があつて、過去の例もあるので、今回、守る会の会長より提案がありました。

具体的な金額は分かりませんが、かなりの費用が掛かるようです。以前は神社でもどこでも引いてくれたのですが、東北電力は、最近では電源が足りないのか非常に厳しいですね。特に臨時設置の場合などは厳しいようです。事情を知っている方にも聞いたのですが、とてもじゃないが、多額の費用が掛かると言っていました。

【藤田会長】

だいぶ時間も経過しました。あまり引きずってもいけませんので、休憩をとって外の空気を吸っていただいてから、再度、審議したいと思います。

ご発言ですか。最後にどうぞ。

【水澤委員】

村松千恵子副会長が先ほど、ふるさと公園の桜を楽しむ会の方たちは有志であつて桜つつみ公園を守る会とは違うと言っておられましたが、守る会の会則第一条に賛同する有志で組織すると書かれていますから、区全体に呼びかけたかも知れませんが、形としては同じような出発点だと思いますので、それで良いのではないかと思います。お願いなのですが、全区も良いのですが、まず地元の桜島や菱田など近隣町内も巻き込んで、できたら下保倉全体でスケールアップして行ってほしいと思います。

【村松(千)委員】

今、水澤さんがおっしゃった点ですが、そこは立ち上げの時に長走町内会さんと桜島町内会さんに声をかけて、始めたボランティアです。

【藤田会長】

現在、私の時計では、3時28分になるところです。それでは、3時40分まで休憩をとって、それからもう一度審議をして、4時を目標に決められるようにしていきたいと思います。

(15時28分から休憩。同40分、協議再開。)

【藤田会長】

それでは、審議を再開します。

各委員の思いがそれぞれありますが、私は7件とも立派なご提案であるし、継続性もあると思いますので、多数決より話し合いで決めていただきたいと思います。立場が変わるといろいろな意見が出て当然だろうと思いますが、大きな流れのなかで、妥協するところはしていただくということと、各団体の思いは十分に我々も分かるので、その辺を皆さんから考えていただいた上で、もう一度、話し合っ、将来にどう結び付いていくかということで、ご意見をいただきたいと思います。

それでも、一つの方向、大きな流れとしては、金額も示していただきました。村松勝藏さんと千恵子さんは、ほぼ同じ意見でありました。池田さんと水澤さんはほぼ同じ意見かなと思っています。それから山崎さんの意見と、3つの意見に分かれると思っています。この部分で討議を進めていただいて、妥協という用語がありますが、どこで譲り合い、次に期待するかという形で割り切っていただければ良いかと思っています。ご意見をお願いします。この3つの意見で議論していただいてよろしいでしょうか。

(会場内から、「はい。」の声。)

池田さんと水澤さんのご意見は数字的に近いし、考え方も近いかと思っていますがよろしいでしょうか。

【池田委員】

ただ、金額的には水澤委員とほぼ一緒なのですが、その中で他の皆さまにも考えていただきたいのは保倉川太鼓のことです。村松副会長は0<sup>ゼロ</sup>円で次年度でと言っておられましたが、これまで610万円だった配分額が今年は550万円に減額されています。来年、再提案されれば太鼓4台を暗黙の了解の下に採択しましょうと約束することはできないと思います。財政難の上越市において、来年、地域活動支援事業がどうなるかは分かりません。そのような中ですから、保倉川太鼓には最低でも2台分くらいは、どうでしょうか。来年、再提案してくださいと言っているが、来年この事業が無くなってしまったら、夢も希望も無くなってしまふの

ですから、その辺も考えていただきたいと思います。

【藤田会長】

私は、断言はできませんが、この事業は現市長の目玉政策ですので、これを無くすことは考えられません。ただ、金額的に一律に減額されたのは、浦川原区にはありませんでしたが、これまで行政が行うべき事業を、この地域活動支援事業で賄っていたという部分に対して、一律に網掛けをした結果、610万円だった配分額が550万円になってしまったということで、地域協議会会長会議でも議論になりましたが、そういう地域がたくさんあったために、行政で行う部分は削りましょうということで大きく減額されたという経緯が実際にあります。今回も、こうした議論のほかに、二次募集、三次募集をする地域も出てくるとは思いますが、そのことも、今後を考えていくべき問題なのだろうと思っています。

今回は、池田委員のおっしゃるように、再提案をお願いするという考え方で約束をすることはできませんが、この事業を無くしてしまったら上越市の姿勢というか自治区というものがどんな形になっていくかを考えていかなければならないと思います。従って、制度が無くなることは考えたくないし、無くしては困ると思います。

今、おっしゃるように、今ある配分額の範囲内で予算付けをしていくべきというのが池田委員の発言ですね。その他にありますでしょうか。

水澤委員から、第2回うらスポマラソン大会へのご意見があった中、飲食や参加賞にかかる費用が大きいために、このままで継続できるのかというご意見でしたが、そのとおりの射ている意見かとも思います。しかし、現実にこれまでに事業をスタートしていて、減額されると基金で賄うしかないということで、夢あふれるまち浦川原が基金を崩していった経緯と同じようなことが繰り返されるという問題があります。スポーツクラブの村松クラブ長の説明では、来年、再来年はゲストランナーを考えていないということですし、我々としては採択に当たって注文は付けられると思います。例えば飲食の問題は、ファミリーイベント的な考えの下、お弁当をご持参くださいというのもありかとも思いますし、ゼッケン等はある程度の数を揃えれば、毎年度購入する必要はないだろうと思います。行政の肩を持つわけではありませんが、規模が拡大しそうな活動の芽を摘んでしまうのは如何かと思います。水澤委員のご意見を否定するのではなく、注文を付けながら今回は決定するという方向も可能ではないかと思います。根本的に来年からは見直してほしいということでも良いだろうと思っています。



北澤委員、何かありませんか。

**【北澤委員】**

言いたいことは、概ね皆さんに言っています。ゆあみに対する批判はあります。また、保倉川太鼓に対しては、初めから団体そのものに否定感を感じていますので、ここで大きく述べることはありません。皆さんの感覚の大筋で良いと思います。

**【藤田会長】**

ゆあみに対する否定的な部分とは、具体的には。

**【北澤委員】**

いえ、ゆあみに関しては否定というより、ここで発言して良いのか分かりませんが、この場でこれだけの経費を認めて始めた事業が、もしも失敗した場合に、基となるNPOの経営共々、危険になるようで怖いのです。事業として軌道に乗せなければならぬというのであれば皆さんのご意見のままで良いと思います。

**【藤田会長】**

意味がわかりました。

値切り合いや、押しつけ合いは良くないし、くじ引きなどで決めたくないのも、あくまでも話し合いで決めるのが妥当な方法と思っています。しかし今、意見が大きく分かれております。

案ですが、先ほどまで3つの意見が出ていますので、皆さんの思いを投票のような形にして最終調整するというのも一つの方法とされているのです。もし意見があれば、出しつくした上で、こういう結果になりましたという形、それから、ご意見がありましたように、採択はしましたが来年度はこうしてほしいとの注文を付けることも可能だと思いますので、それらを含めた中で調整したいと思います。大きく分けて3つの意見に分かれていると申しましたが、投票することに、ご意見をいただけますか。

**【山崎委員】**

昨年も関係者がこの議論に入るのはいかがなものかという議論がありましたが、この中には3人ほど桜つつみ公園を守る会に関係する方がおられますよね。投票した時に、10人中3人が自分たちの出した提案を優先しないわけがないと思うので、投票はいかがかなと思います。

**【村松(千)副会長】**

今のご意見は、私も桜つつみ公園を守る会のボランティアに入っているためのお話かと思いますが、団体の会長ではないので、それは違うと思います。趣味で集まった会だと言うなら別ですが、これは地域興し、地域の発展のために活動しよう下保倉、末広、近隣の集落の皆さんが集まったグループで、たまたま私も応援しようとメンバーに入った訳ですので、投票の中に入るべきでないと言われるのはおかしいと思います。

**【藤田会長】**

真っ向否定的な意見で、弱りましたね。はい、水澤委員、どうぞ

**【水澤委員】**

今の山崎さんの発言ですが、評価に当たってそこに関わる人は云々という制約は無かったですかね。

**【池田委員】**

委員は、提案者になれない、ということだけでしょう。

**【水澤委員】**

それだけでしたか。制約が無いなら、区の代表として皆さんもポリシーをお持ちと思っています。

先ほど、会長が発言されましたが、市の教育委員会とスポーツクラブの間での発言がありましたが、本来、地域活動支援事業は街づくりのための事業なので、公的な絡みにはウエイトを置いていないと思います。そういうものは無いと考えると、桜つつみ公園を守る会など、地域の皆さんが純粋に地域興しをしようとする活動に対して、色分けをするような感じに受け取れますので、会長には余り強調して欲しくないなと思いました。

**【藤田会長】**

教育委員会も管理者として、こういうことを重ねていった場合に、ただ傍観しているだけでは駄目だろうと思います。例えば桜つつみ公園を守る会の活動に対しては県や市も責任があるわけで、この活動に感謝して、どう参加するべきかということを知っていなければならないと思います。ふるさと公園も砂防の関係でできたのですから、地域住民やボランティアの団体だけに任せておくのはいかがなものかという思いで発言しましたので、誤解のないようにお願いいたします。

それでは、山崎さんからご指摘もあったり、また、村松千恵子さんからその反論があったりと折り合いが付かない部分がありますが、妙案がなければ、ここで賛否を

問うということで、厄介ですが皆さんから投票のような形でお願いして、採決するという方法もあると思います。これは会長案ですが、それで良いでしょうか。

はい、杉田委員どうぞ。五十嵐委員は、その次に発言してください。

【杉田委員】

先ほどの3つの案の中で、採択するということですか。

【藤田会長】

そうです。

【杉田委員】

これまで、7件全てを採択するということが皆さんが合意していますので、もう少し、1件ずつ精査をしませんか。どの道、提案の総額から約400万円を削らなければならないのだから。

【藤田会長】

今、550万円分の数字は出ておりますので、中身の配分においてどの部分で妥協できるのかできないのかということです。

【杉田委員】

だから、減額できるところを探さなければならないので、一つずつ項目を挙げて審議するのは無駄でしょうか。

【藤田会長】

それも一つの提案だと思います。

【杉田委員】

そうしながら、構わないで良いものはそのまま、そうすれば結論は自ずと出てくると思います。

【藤田会長】

はい。次に五十嵐委員どうぞ。

【五十嵐委員】

今の杉田委員の提案と同じ意見です。一つ一つを潰していかないと、いつまで経っても結論は出ないので、順番は上からでも良いですし、全額を認めるものからでも良いですが、決まるものから決めたほうがよいと思います。

【藤田会長】

はい、それではもう一度、改めて精査していきたいと思います。

全委員の合意ができたのは、すずらん会の提案、これは10万円です。

ね。

(一同、「はい。」)

次は、うらがわら山友会の提案、23万円と。これもよろしいですね。

(一同、「はい。」)

そして、ふるさと公園の桜を楽しむ会の提案には、10万円と18万円の2つの案が出ておりますが、これについては少々、協議していただけますか。

**【村松(千)副会長】**

ふるさと公園の桜を楽しむ会に対しては、維持管理費ということで、10万円ではないでしょうか。

**【村松(勝)副会長】**

私も、10万円を提案します。

**【藤田会長】**

10万円というご意見ですが、いかがでしょうか。

**【池田委員】**

何度も話されましたが、以前から何年にも渡って、地域活動支援事業の中で少ない金額で活動してこられて、桜つつみ公園を守る会も同様かも知れませんが、手弁当でやっているのだというお話も団体の会長から聞きました。今回もテングス病対策等の維持管理で、山友会や他の団体の金額との整合もありますが、全額の18万円にするのが適当ではないでしょうか。

**【藤田会長】**

はい、これも意見が割れていますが、折衷案で14万円をお願いできればと思いますが、どうでしょうか。

**【水澤委員】**

地元なので、あまり発言したくないのですが、団体の持ち出しもあり、最低金額で努力されているし、特にふっかけた数字にも見えないので、希望額満額で良いのではないのでしょうか。

**【村松(勝)副会長】**

今までに合計でいくら補助が出ていましたか。

**【藤田会長】**

70万円くらいずつ、2回だったと記憶しています。3回でしたかね。

**【村松(勝)副会長】**

今までは備品購入だったけれど、今回は運営費だから。

**【池田委員】**

以前は、ステージ上の機器だったと思います。

**【水澤委員】**

当時も、機材等については最後だという話でしたよね。

**【村松(千)副会長】**

何度も同じ話で申し訳ありませんが、一年に一回しか使わないイベントの機材まで申請されているので、今回は維持ということで少しは節約していただき、10万円でその分を他の団体へ回したほうが良いと思います。この団体も一生懸命に活動していらっしゃるのは承知しているのですが、どこの団体もある程度はボランティアでやっており、ふるさと公園の桜を楽しむ会だけがボランティアではないので、そこを加味して10万円でいかがでしょうか。

**【藤田会長】**

個々に検討、精査していくという形式にした中で、綱引きはご勘弁いただきたいのですが、そこら辺を考えると、非常に打算的ではありますが、先ほど足して2で割ったらどうだと提案したのです。実際に無駄なものを提案されている団体は無いだろうと思います。ただ、残念ながら配分額が足りないために検討に時間がかかっていますが、ふるさと公園の桜を楽しむ会には、満額の18万円という思いがある一方で10万円という意見も出ておりますので、中を取っての14万円という妥協案があります。

ただ間違いなく、これらの事業を継続するには維持費がかかるけれど、これをなかなか算出できないという悩みがあることは事実です。私も実際に、現場に招かれて行って、その様子を如実に見ております。去年は天候不順で中止せざるを得なかったということもありまして、努力しても自然には勝てないということがありますので大変な仕事だと思っています。

池田さん、水澤さん、村松さん、私の案でどうですか。14万円で、お許しいただきたいと思います。

**【村松(千)副会長】**

はい、賛成です。

(池田委員、水澤委員からも反論なし。)

**【藤田会長】**

それから、一番、議論が集中した保倉川太鼓の提案ですが、159万円と0円と。<sup>ゼロ</sup>  
但し0円の意味は、一括して揃えたほうが良いという要望の中で、どう取り計らったら良いかということです。来年のことを約束するのかがとのご意見もありましたが、そうではなくて、再募集をお願いする中で、我々委員は来年度も変わりませんので、ここで約束はできませんが、我々の思いは一つにしておかなければならないと思います。そういう思いを含めて、皆さんからご検討いただくということです。

**【村松(千)副会長】**

今、会長は再募集と言われましたが、今年の再募集で私たち協議会が検討するということでしょうか。

**【藤田会長】**

いいえ、違います。

**【村松千恵子委員】**

来年、新たに保倉川太鼓さんから応募していただくということですね。はい、分かりました。

**【山崎委員】**

今の話ですが、議論は7件の提案を全て採択するというところでスタートしているはずですが、来年、また応募するということは採択しないということですか。

**【藤田会長】**

いや、そうではなくて、そういう意見があったということで数字的なことと言えば3案に分かれていて、その3案のなかに0円があるという話であって、159万円もあり先ほどのふるさと公園の桜を楽しむ会のように、間を採って半額ということも有り得るわけです。

**【山崎委員】**

ただ、0円<sup>ゼロ</sup>ということは採択しないということですよ。だから、最初から0円<sup>ゼロ</sup>という結論はないのではないですか。

**【藤田会長】**

私が今、申し上げたのは、0円<sup>ゼロ</sup>という項目もあるが、159万円という意見もあるのだという話であって、0円<sup>ゼロ</sup>にするということではありません。

**【山崎委員】**

話し合いのスタートが、7件の全てを採択するというのでしたから、例え1円であっても金額を付けなければならないので、0円<sup>ゼロ</sup>採択という結論はないのではない

ですか。

【藤田会長】

それはそれで結構だと思います。

【山崎委員】

結構というのは、0円採択もあるということですか。

【藤田会長】

そうではなく、個々に精査しようという話から出たのであって、そうでなければ2分の1にするということになってしまうので、太鼓の件についてはそういう性質のものではないと言っているのです。今回、0円<sup>ゼロ</sup>で再度、応募していただくのだから一つの案と申し上げたが、おっしゃるとおり7件全てを採択するというのは杉田さんのご意見だったと思いますが、それは確認し合えば良いことであって、あまり拘る必要はないと思います。

【水澤委員】

最初に、確認事項として全7件を採択しましょうという話だった、と言っておられるのですよね。

【山崎委員】

そうです。その上で、個々の金額を決めに入ったのではないですかと言っているのです。違うのですか。

採択するかしないかも含めて1項目ずつ決めていくということだったのですか。私の勘違いだったら申し訳ありません。

【池田委員】

7件の全部を採択するとした中で、金額を決めていくということだと思います。

【山崎委員】

何か、私はおかしいことを言っていますか。

【池田委員】

おかしくないけれど、会長が0円<sup>ゼロ</sup>と言われたのは、3つの案が出ていて、中には0円<sup>ゼロ</sup>という意見もありましたということだと思います。

【山崎委員】

私が言いたいのは、その先で、採択すると決めたのなら0円<sup>ゼロ</sup>という選択肢はないですよってことです。

【池田委員】

そこに拘らなくても良いと思いますが、要するに0円では採択しないという意味になるということですね。

【山崎委員】

そうです。

【池田委員】

そうではなく、もう一回、揉んで、7件を全部、採択しましょうというスタートですから。

【水澤委員】

それで良いのではないですか。

【藤田会長】

ということで、保倉川太鼓の提案について、どういう方法でどれだけの金額を提示するかということだろうと思います。

【杉田委員】

2セットでいくらでしたか。

【山崎委員】

119万円です。

【藤田会長】

2セットで119万円ですか。

【山崎委員】

2セットではなく数字を合わせただけですが、大体この位で2セット買えるだろうということです。

【保倉川太鼓（傍聴席から）】

すみません。その金額は割引後の金額ですので、それ以上は値引きが期待できません。傍聴席からの発言は控えようと思っていたのですが、2セット分の金額であれば、希望額のちょうど半分の額です。

【山崎委員】

ちょうど半分なら139万5千円ですか。置き台もあるのでね。

(会場内から、半額の139万5千円に賛成との声、多数。)

【藤田会長】

いくらでしょうか。139万5千円ですね。では、うらがわらスポーツクラブ、桜つつみ公園を守る会、夢あふれるまち浦川原の3つの提案の兼ね合いを考えなが



ら、討議していきたいと思います。

夢あふれるまち浦川原の希望額は239万4千円ですね。その内訳、ページを捲っていただいて2枚目の裏面です。「ホームページ作成費」、「チラシ」、「事務管理費」、「雑費」を引くといくらになるのでしょうか。「備品購入費」だけで考えれば、199万円ですか。そうすると、その根拠から200万円という提案ですか、村松さん。

**【村松(勝)副会長】**

単純に、合計の250万円から単純計算で「販促費」40万円と「事務管理費」10万円を引いて200万円としました。

(場内から、200万円で賛成との声。)

**【藤田会長】**

200万円ではよろしいでしょうか。

(場内から、「はい。」の声。)

**【藤田会長】**

そうすると、あと残ったのは、うらがわらスポーツクラブと桜づつみ公園を守る会の提案です。これを決めれば、全て完了かと思います。

**【杉田委員】**

桜づつみ公園を守る会に関しては、村松副会長が言われた熱意は十分に分かりませんが、私は、熱意に対して200万円というのは高過ぎるのではないかと思いますので、今後のこともあるのであれば、自助努力していただいて、減額でも良いと思います。

**【藤田会長】**

あと、いくらありましたか。

**【山崎委員】**

桜づつみ公園を守る会とうらがわらスポーツクラブの2つの提案に対して、予算が163万5千円残っています。

**【村松(恵)委員】**

今回は、うらスポマラソンにも、もう少し配分しましょう。

**【杉田委員】**

昨年は20万円だったし、今回も20万円が良いとの意見も出たけど、もう少し配慮したほうが良いでしょう。

**【村松(恵)委員】**

今回は中学生も全面的に協力し、参加していますので、おにぎり位は良いかと思えます。

**【水澤委員】**

口に入るものだから、そこはどうかと思うけれど、そうかと言って、基金を崩されたら長期的に継続できないのは皆さんもご承知だと思いますので、半分ずつ位でどうですか。

**【藤田会長】**

今年でゲストラナーは止めて、5年目の記念大会の際に再び考えますと言っておられました。それは認めてあげないといけないと思うのです。というのは、最初、広告塔のような形でいきたいと言っておられたし、出演料の高い有名人を連れてくれば自然と人も集まってきますので、それがないと大変だと思います。

**【杉田委員】**

「うらスポマラソン大会」の件ですが、協賛金というかスポンサーからの収入が15万円しか計上されていませんでした。もう少し、集めてもらっても良いと思います。ゼッケンに社名でも入れれば、もう少し、お金が集まると思います。

**【藤田会長】**

こちらの希望としては、タイムを取らないで楽しみながら運動してもらおうという内容のイベントであり、先ほど話題になった音響設備代や給水所の飲料水も含めてあるとはいえおにぎり、豚汁等の30万円とか、参加賞のTシャツの配布とか、参加費を集めてもすっかりそれで消えてしまうようなことでは如何かと皆さんもおっしゃっているので、我々としてもこのことについては、来年、提案されるようなら十分に精査していただくように注文を付けていくことが大事だと思います。

**【水澤委員】**

個人の手元に渡るような参加賞のTシャツや飲食物は、規制はないとはいえ、他の補助事業をお手本にした中で、良識の範囲内で100円とか200円程度が良いと思います。それ以上を配る必要があるのかと思います。その他の、例えば音響設備に関しましても、11万円位もかかっているわけですから、そこまでする必要があるのであるのかと思います。

若葉まつりでも、市の音響設備で十分に用をなしております。今年は天候不順でしたが、それでも400人か450人位が来ていただきました。パフォーマンスだけが人を呼ぶわけではないので、次年度からはもっと粛清して基金も食い潰すことが

ないように、他の自主事業で儉約しながら備えていただきたいという意味を込めて、今回は今更、ゲストを断るわけにもいかないでしょうから、73万5千円でいかがでしょうか。

**【藤田会長】**

分かりました。水澤委員のご意見も十分に分かりましたし、それに関しては、最終的に注文をつけて採択という形を採っていきたいと思います。

私の案ですが、桜つつみ公園を守る会に対しては、今後のお願いもあり、また、ますます発展させていただきたいという期待もあって、希望額の半分にしかありませんが100万円にさせていただき、残った予算をうらスポマラソン大会に、という考えでいかがでしょうか。

地元で汗をかいていただいた五十嵐さん、村松さん、いかがでしょうか。

**【五十嵐委員】**

今ほどの会長の意見を尊重するなら、うらスポマラソン大会に70万円、残りを桜つつみ公園を守る会にということにして、ゲストランナーの分は出してもいいのではないのでしょうか。

**【藤田会長】**

ちょうど70万円ですか。桜つつみ公園を守る会には、いくらになりますでしょうか。

(場内から「93万5千円。」との声。)

慎重審議していただいた結果、今、方向性が見えてまいりました。確認のため、金額だけを申しあげますので、間違っていたらご指摘をいただきたいと思います。

桜つつみ公園を守る会には93万5千円。ふるさと公園の桜を楽しむ会には14万円。うらがわらスポーツクラブには70万円。保倉川太鼓には139万5千円。うらがわら山友会には23万円。すずらんの会には10万円。NPO夢あふれるまち浦川原には200万円。以上で、合計が550万円になるでしょうか。

(場内で「はい。」「なりました。」等の声。)

それでは、金額的にはこれで決着を付けさせていただきますが、桜つつみ公園を守る会については、希望額の約半額となっておりますので、内容をご検討いただき、有効に使っていただくということで採択する上で申し添えます。うらがわらスポーツクラブに対しては、いろいろご審議をいただき、70万円を配分しましたが、運営の方法に憂慮する点が多いということで、もし来年からの運営に地域活動支援事

業費を活用するのであれば、改めて立て直した内容での提案をしていただきたいと思いますということですが。

保倉川太鼓には半額の金額で139万5千円ということで、ますますのご活躍を期待いたします。

うらがわら山友会、すずらんの会には、希望額どおりということですが。

夢あふれるまち浦川原には、理事長ご本人も言うておられました。何か事情が変わらない限り地域活動支援事業としては最後の採択であることをお願いをして、新しい組織で200万円を配分すればそれなりの活動をしていただけるものと我々が判断したということですので、ご了解いただきたいと思います。

採択に当たり注文を付けて通知するという文言については、会長、副会長に任せていただけますでしょうか。皆さんから今、お話し合いいただいたことを頭に入れながら作成したいと思います。よろしいですか。

(一同、「はい。」)

それでは、長時間のご審議、どうもありがとうございました。これで第2回浦川原区地域協議会を閉会いたします。

本日は、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。

## 9 問合せ先

浦川原区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-599-2301 (内線 305)

E-mail : [uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:uragawara-ku@city.joetsu.lg.jp)

## 10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。